

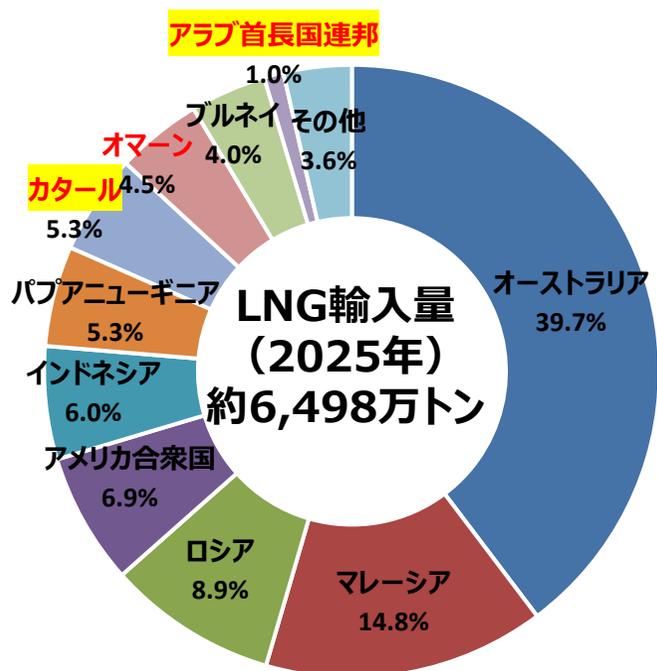
LNGをめぐる動向と 電力・ガスの安定供給について

2026年3月10日

資源エネルギー庁

我が国のLNG輸入の現状

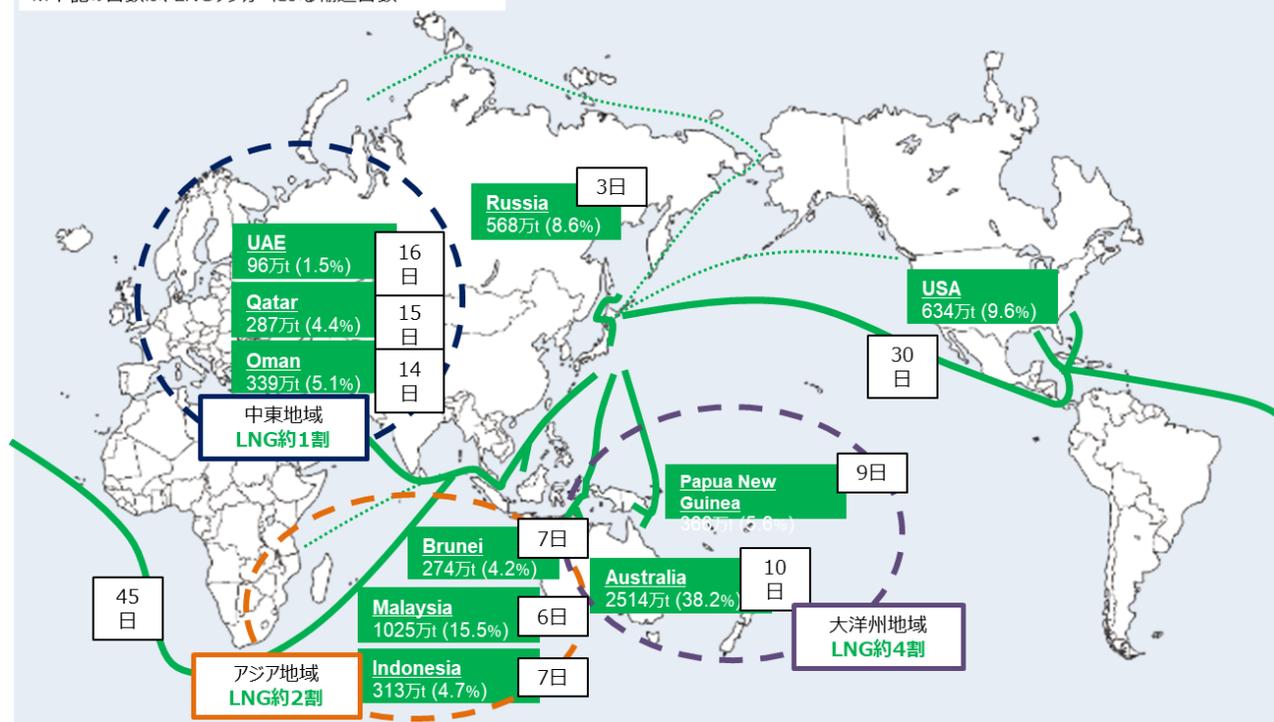
- LNGは原油に比べ調達先の多角化を進めており、ホルムズ海峡を經由する輸入量は約6%（年間約400万トン）。



中東依存度 : 10.8%

ホルムズ依存度 : 6.3%

※下記の日数は、LNGタンカーによる輸送日数

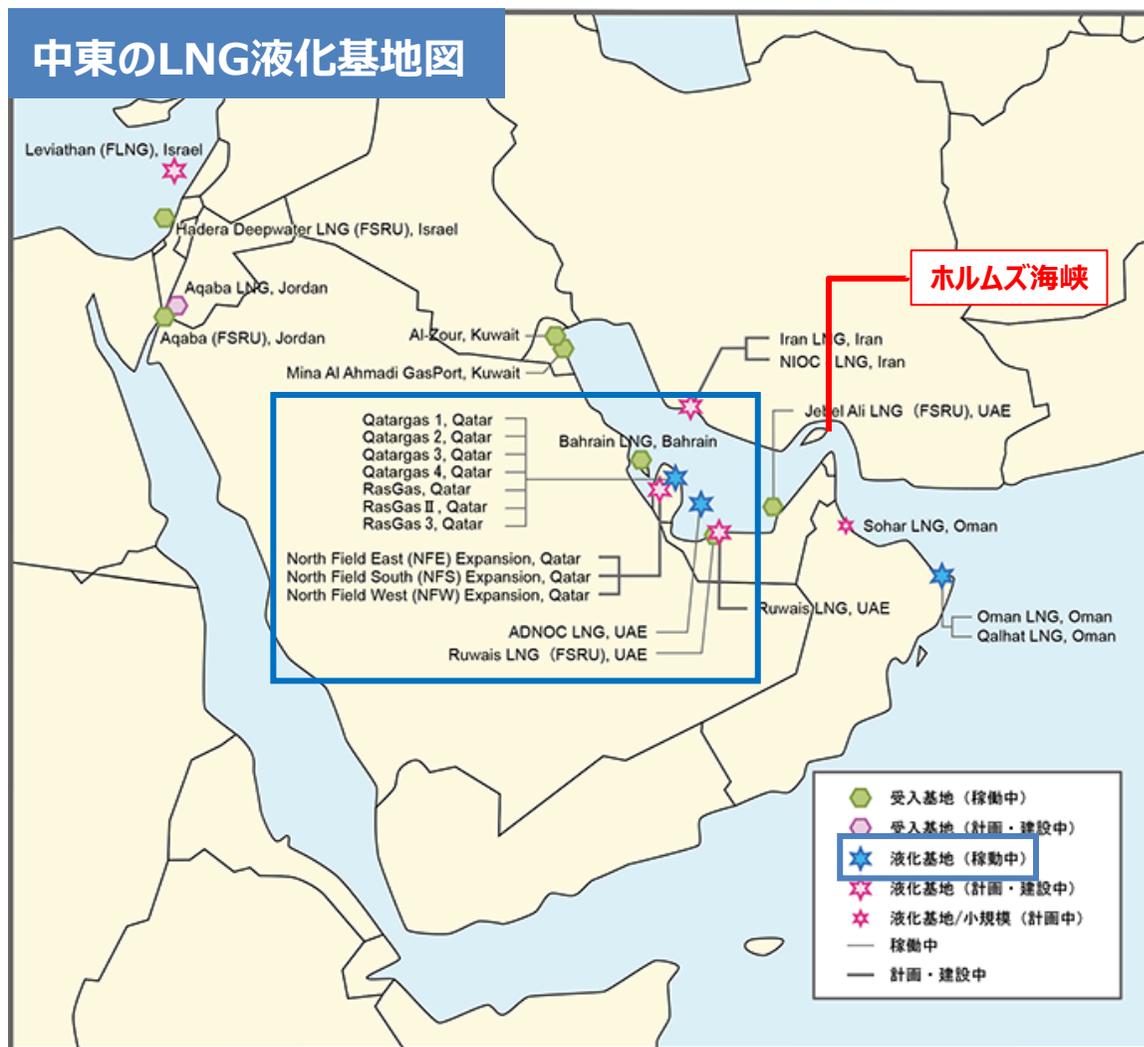


出典：財務省貿易統計

出典：JOGMECヒアリング等から資源エネルギー庁作成

LNG供給への影響

- イラン情勢を受けて、ホルムズ海峡の通過を見合わせている状況が継続している。



カタールのLNG生産状況

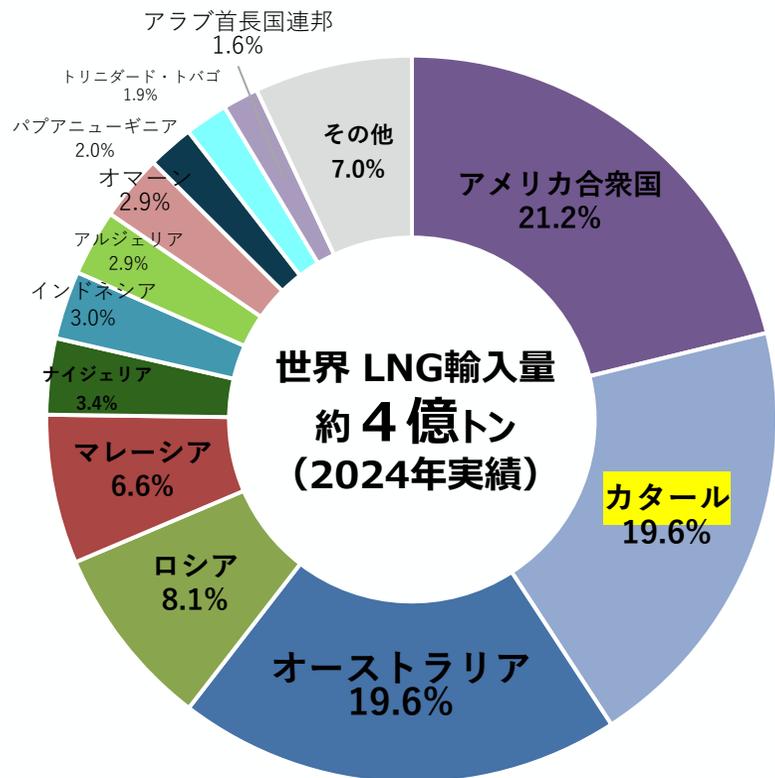
- 3月2日、カタールエナジーはLNG操業施設が軍事攻撃を受けたことにより、**LNGの生産停止を発表**。
- その後、3月4日に**フォースマジュール（不可抗力条項）を宣言**した。

 <p>قطر للطاقة QatarEnergy</p> <ul style="list-style-type: none">Who We Are >What We Do >Marketing & Trading >Sustainability >	<p style="text-align: right;">3月2日</p> <p>News Details</p> <p>Home > Media Center > News Details</p> <p>All news</p> <p>QATARENERGY TO STOP PRODUCTION OF LNG</p> <p>DOHA, Qatar • 02 March 2026 – Due to military attacks on QatarEnergy's operating facilities in Ras Laffan Industrial City and Mesaieed Industrial City in the State of Qatar, QatarEnergy has ceased production of liquefied natural gas (LNG) and associated products.</p> <p>QatarEnergy values its relationships with all of its stakeholders and will continue to communicate the latest available information.</p>
 <p>قطر للطاقة QatarEnergy</p> <ul style="list-style-type: none">Who We Are >What We Do >Marketing & Trading >Sustainability >	<p style="text-align: right;">3月4日</p> <p>News Details</p> <p>Home > Media Center > News Details</p> <p>All news</p> <p>QATARENERGY DECLARES FORCE MAJEURE</p> <p>DOHA, Qatar • 04 March 2026 – Further to the announcement by QatarEnergy to stop production of liquefied natural gas (LNG) and associated products, QatarEnergy has declared Force Majeure to its affected buyers.</p> <p>QatarEnergy values its relationships with all of its stakeholders and will continue to communicate the latest available information.</p>

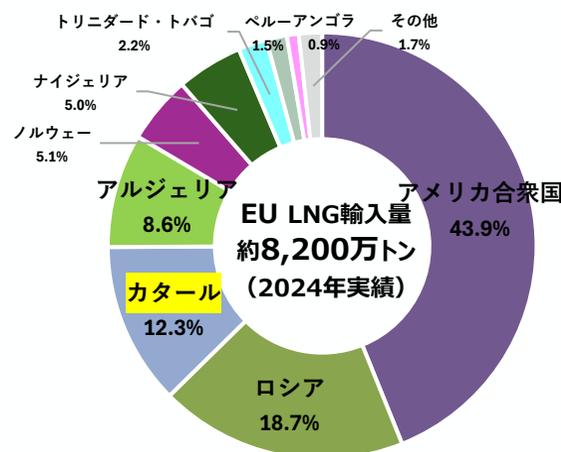
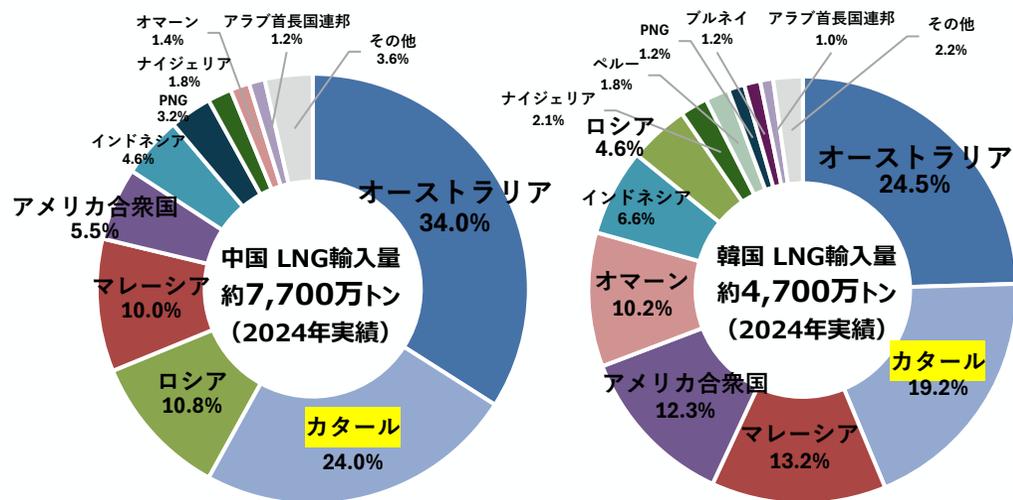
(参考) 世界におけるカタールのLNG供給見通し

- カタールのLNG供給量は世界第2位 (約8,000万トン) (世界シェア約2割)。

LNG輸出の世界シェア (2024年実績)

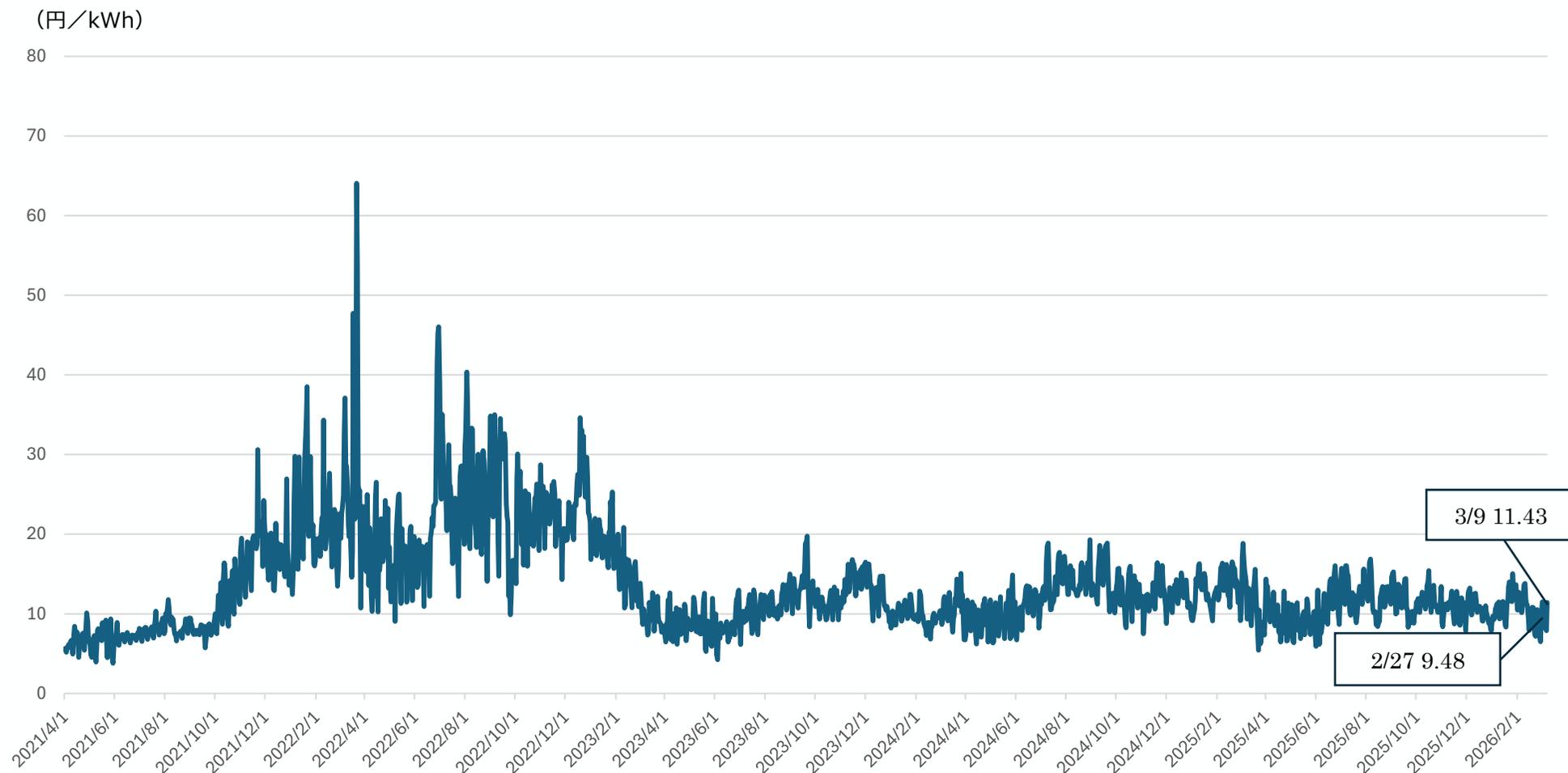


主要国・地域におけるLNG輸入量 (2024年実績)



(参考) JEPXスポット市場価格の動向

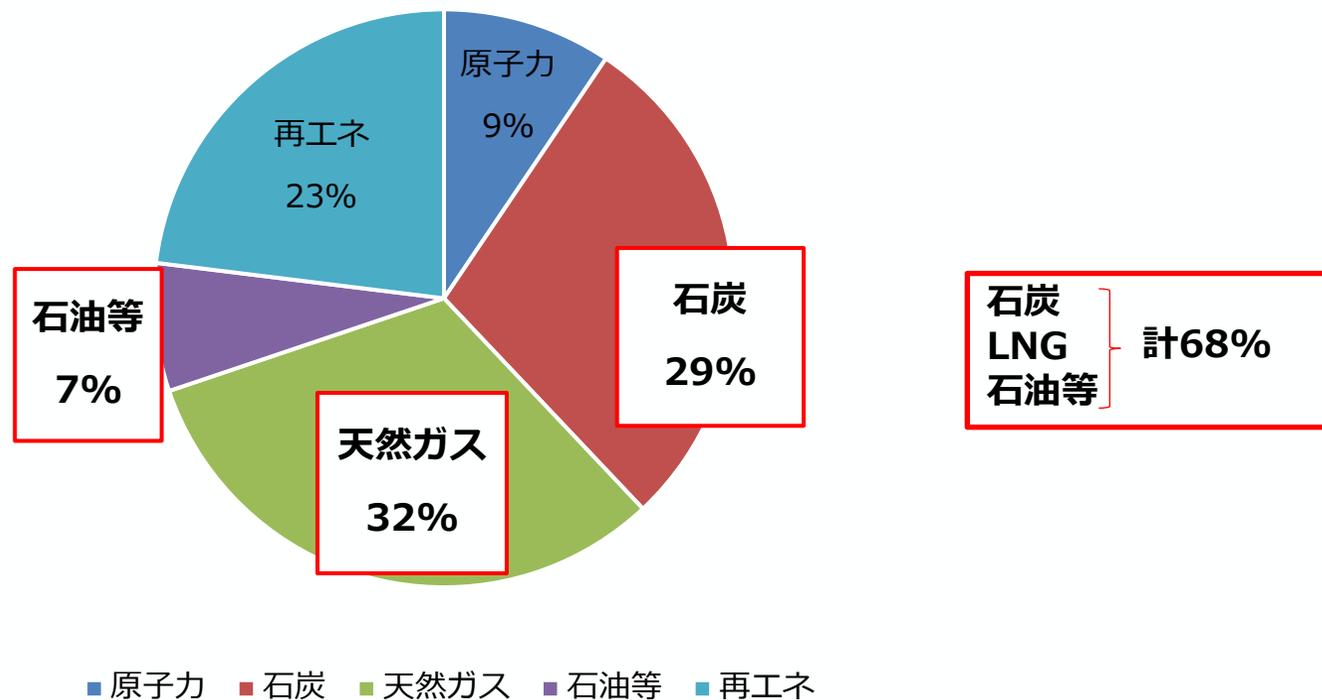
- JEPXスポット市場価格は、3/9時点で11.43円/kWh。昨年と比しても概ね同様の価格水準で推移。



電源構成に占めるLNGの比率

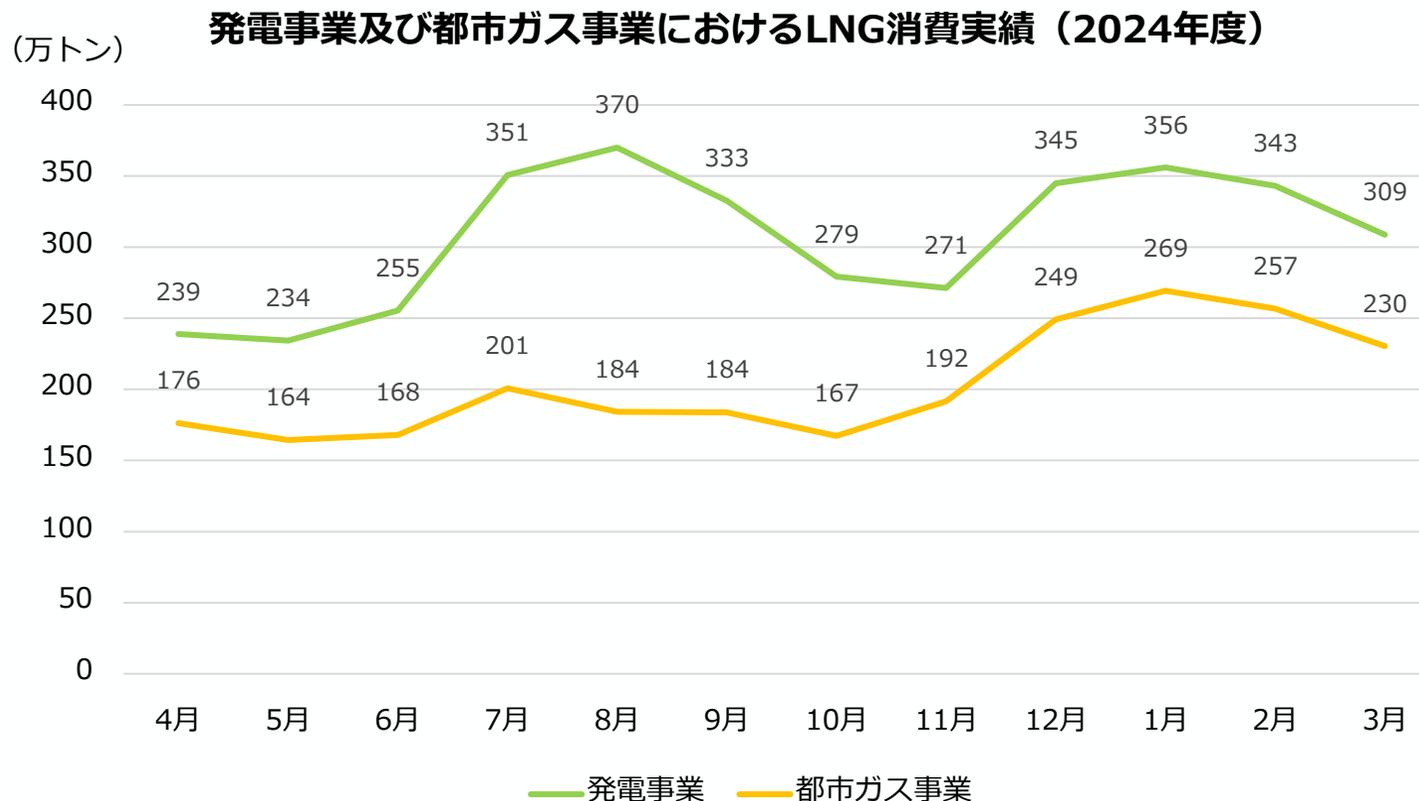
- 我が国の電源構成のうち火力発電が占める割合は、石炭約3割、**LNG約3割**、石油等1割弱。

電源別発電電力量構成比（2024年度速報値）



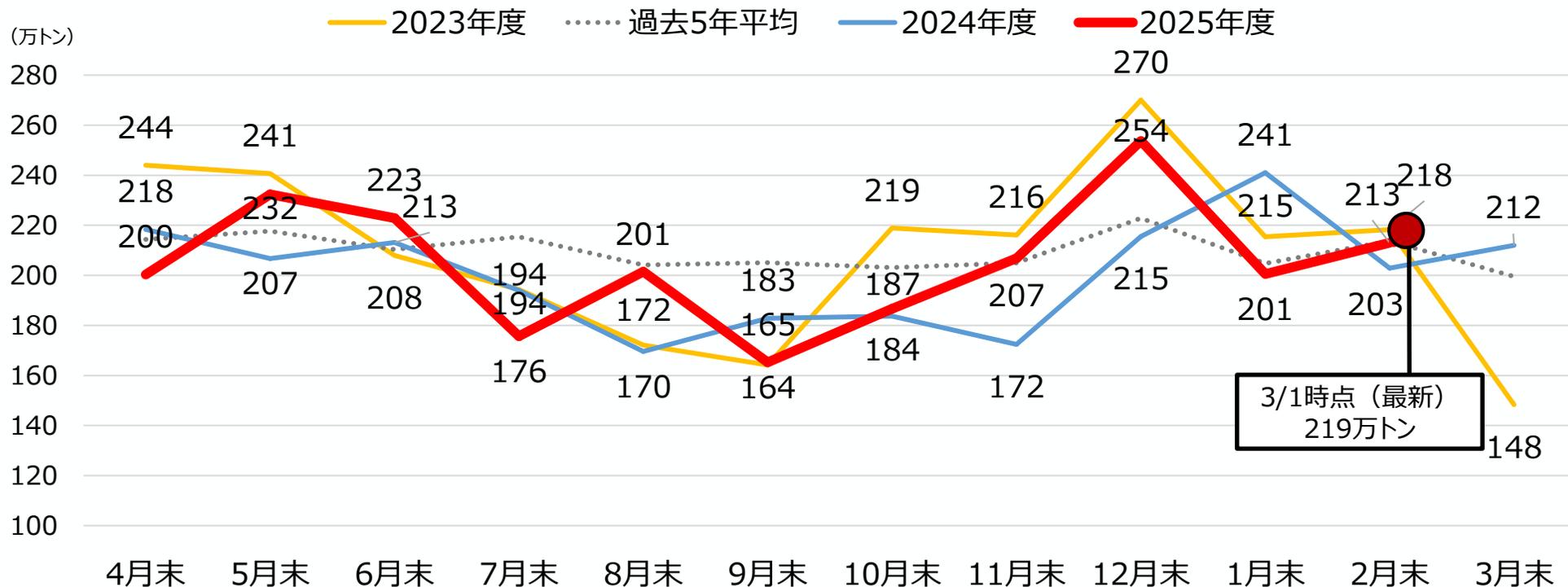
国内の電力・ガスのLNG消費量

- 電力は年間3,700万トン程度、都市ガスは年間2,500万トン程度のLNGを消費。
- 電力は夏・冬に、都市ガスは冬に需要が増える傾向。



大手電力会社のLNG在庫（2026年3月1日時点）

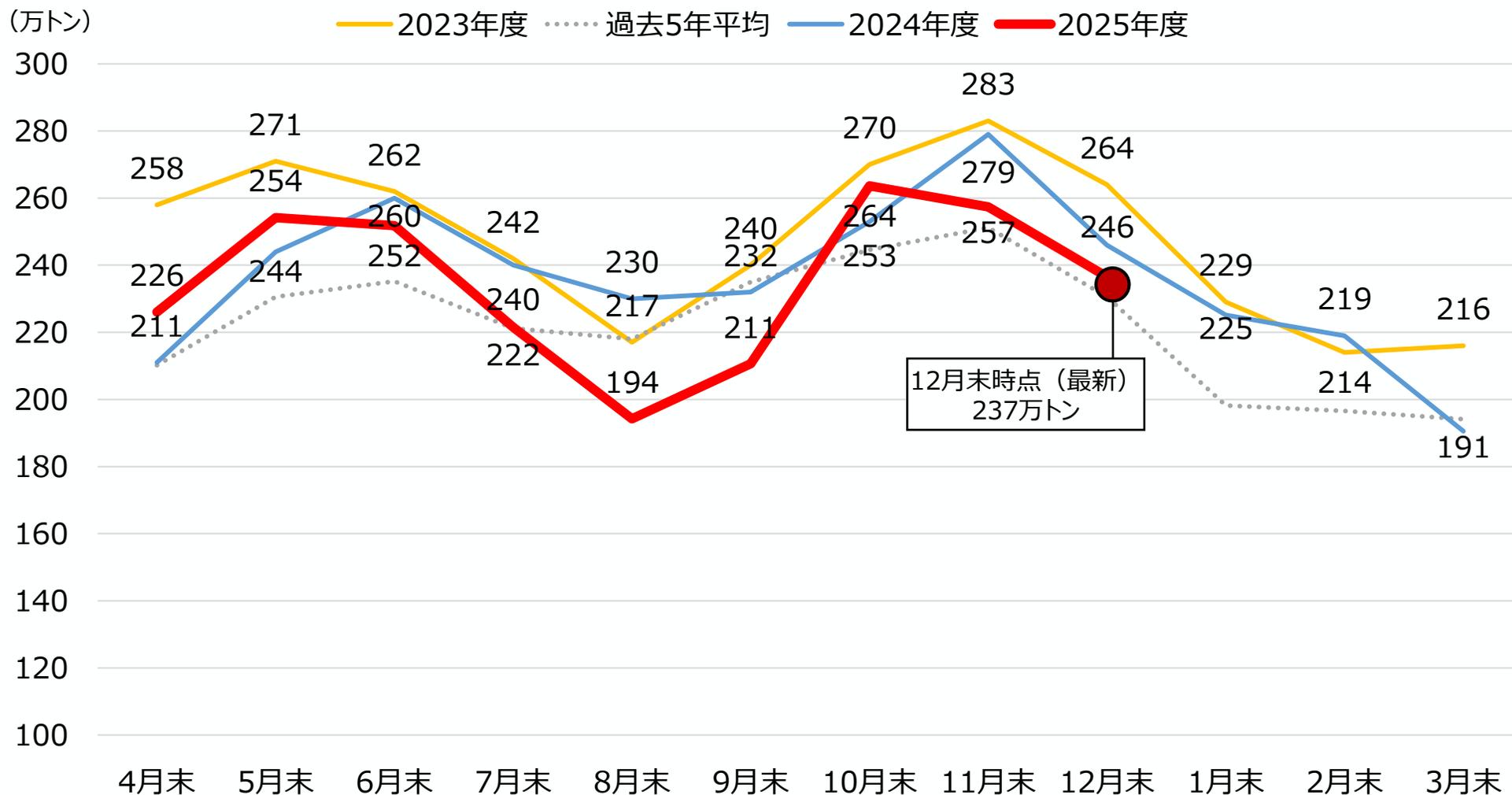
- 資源エネルギー庁において、大手電力が使用する**発電用LNGの在庫状況（週末在庫）**について**モニタリング**を実施し、資源エネルギー庁のHPにおいて公表している。
- 大手電力会社の最新（3/1時点）の在庫は、**過去5年平均と概ね同水準**となっている。



ガス事業者のLNG在庫の推移（2025年12月末時点）

- 2025年度のLNG在庫については、過去5年平均と概ね同水準で推移（※）。

※2026年2月末時点の在庫は、各社ヒアリングを踏まえれば、安定した在庫水準を確保している。



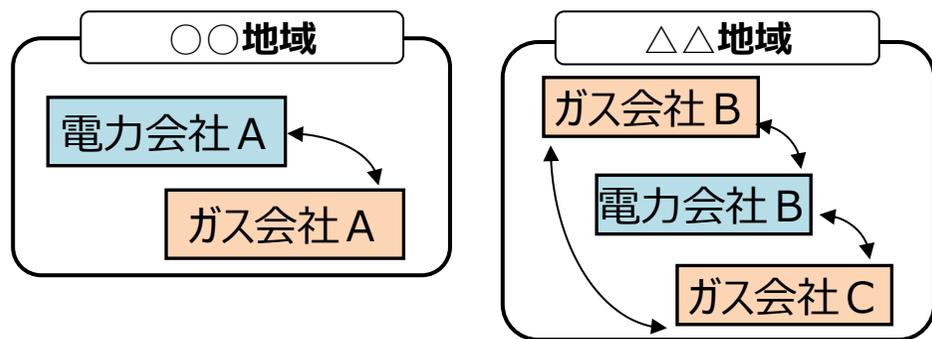
※ガス事業生産動態統計より作成。2025年12月末時点まで公表済み。

※ガス事業者：ガス事業法第2条第12項に規定するガス事業者（同条第10項に規定するガス事業者を除く。）

LNG安定調達に懸念が生じた際の対応について

- 国内事業者はLNGの安定調達に支障を来す事態が生じた場合に備え、地域連携スキーム、更には全国連携スキームを整備（2021年スキーム構築）。
- 事業者による取組を行ってもなお対応できない場合、資源エネルギー庁は、必要に応じて、電力・ガス会社間のLNG融通の仲介を行う。

<地域連携スキーム>

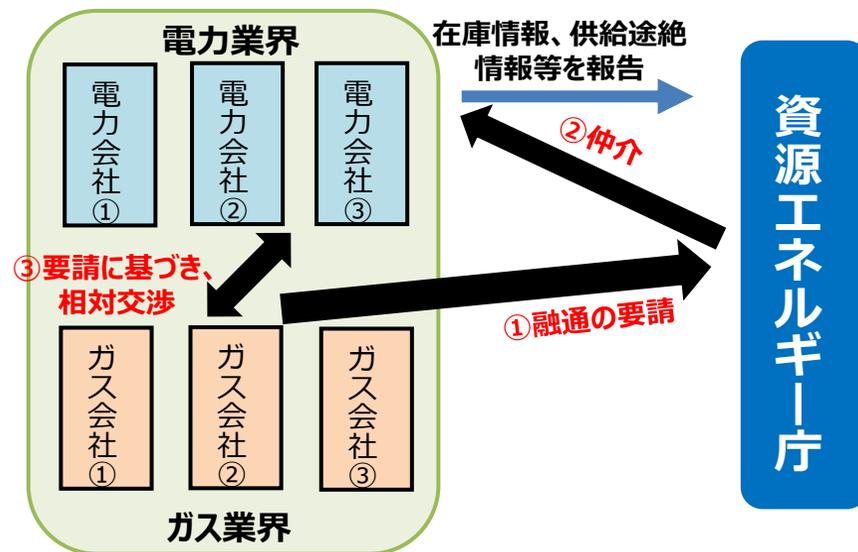


※地域ごとの連携体制は、共同基地を有している、基地間の距離が近い、導管によりガスを送ることができる電力・ガス会社間の連携を想定。

<地域協議会>

地域ごとに、事業者間の窓口交換、連携確認、融通の事前準備等

<全国連携スキーム>

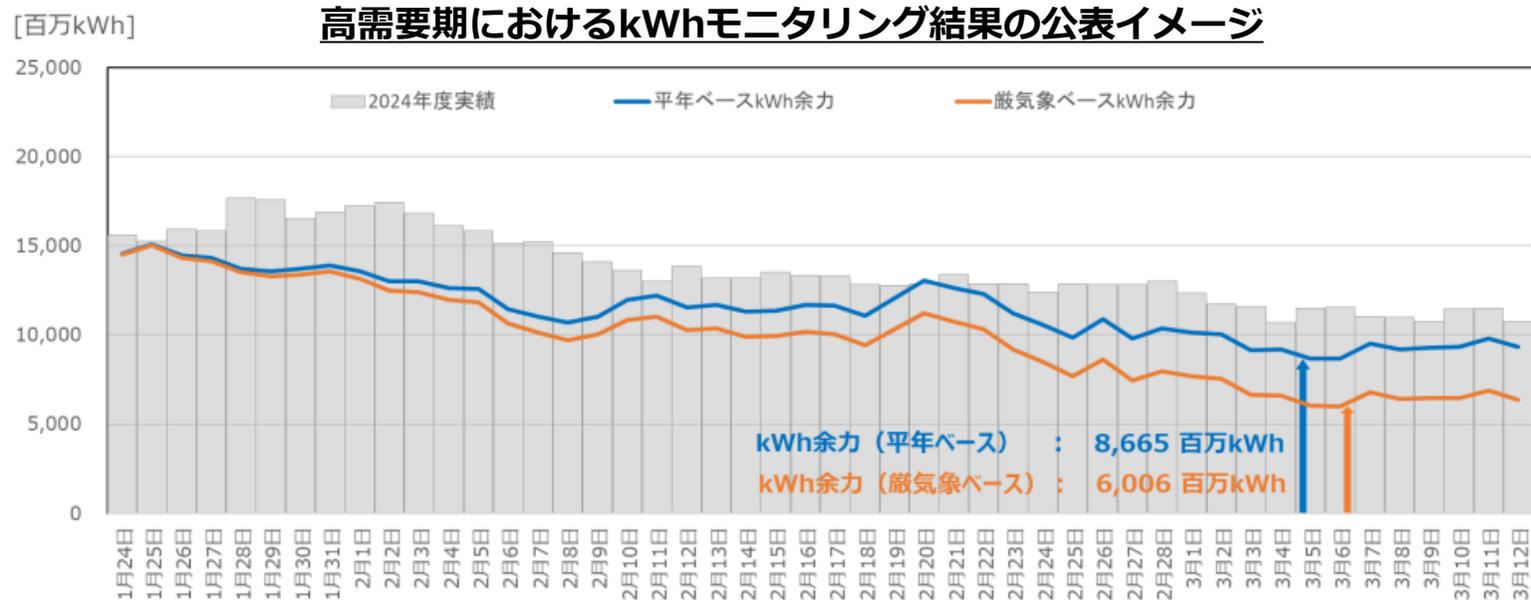


<官民連絡会議・作業部会>

資源エネルギー庁による情報共有、安定供給への協力要請等

電力需給にかかるkWhモニタリング

- 電力広域的運営推進機関においては、高需要期である夏季と冬季において、**発電事業者の燃料在庫・調達状況を定期的に確認**し、把握した燃料在庫の状況から導出される我が国全体の発電可能量（kWh）と過去データから予測される需要量を比較することで、**2か月先までのkWh余力（燃料在庫）の見通しを公表**している。
- イラン情勢の急変により、エネルギー調達を取り巻く国際環境の不確実性が高まる中で、事態が長期化・深刻化するリスクも想定し、**高需要期である夏季にむけて燃料在庫の水準の把握と、燃料不足に伴う電力需給ひっ迫の兆候を早期にとらえる**ことを目的に、当面の間、**同機関による臨時のkWhモニタリングを実施し、その結果について4月上旬頃より公表**を行う。



※厳気象は高需要期（厳夏・厳冬）における想定のため、高需要期以外については平年ベースでのモニタリングを実施する